

# 平成 26 年度事務事業評価調査

事業コード	04020601	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 経常
事務事業名	森林環境保全整備直接支援事業	担当部署名	地域振興課
		作成責任者職氏名	課長 北浦秀明
		内線	455
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	04観光・産業・地域振興	02農林業の振興	06間伐などの林地保全
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度～ 年度)	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## I 事務事業の概要<Plan>

<p>(1)事務事業の目的及び内容</p> <p>①目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営計画に基づく森林整備に対して支援し、効率的で持続的な森林施業を確保する。</li> <li>・林業不況などの影響により、手入れが行われず放置された森林を再生し、将来にわたって保全し、木材の安定供体制を整える。</li> </ul> <p>②内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切捨・搬出間伐の実施</li> <li>・路網整備</li> </ul>	<p>(2)対象(誰を対象とするのか)</p> <p>村内森林所有者(経営計画作成者・作成予定者)</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたい)(4)事務事業を進める上での課題や問題	
<p>森林を保全するとともに木材を利用することで、林業の再生につなげる。</p>	<p>予算の確保</p>

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	500	2,220	2,220	2,846	3,000			
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
その他の特財								
一般財源	500	2,220	2,220	2,846	3,000			
人員費								
一般職員所要人員(人)(B)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10			
一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	555	589	589	589	589			
総コスト費(千円)(A+C)	1,055	2,809	2,809	3,435	3,589			
人口あたりコスト(円)	174	464	464	567	592			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	事業量	ha	11.1	11.1	100%		
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 100% / 1 = 100% (A)

### III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証			
評価項目	評価結果		評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	村の山林の森林整備計画にのっとりて施業している。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	森林保全や治山治水に有効である。
③効率性 ※効率的に進められているか	3	4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	森林経営計画に沿って施業されている
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	国、府、村、受益の負担割合が明確にされている。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16) **12** / 16 **75%** (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
100%	75%	88%	b
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小)                      b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止)                      c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

### IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
<b>B</b>	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
なし	

### V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
効率的で持続的な森林施業を確保、また木材の安定提供体制を整えるにあたり、引き続き実施していく必要があると考える。	<b>B</b> A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	<b>B</b> A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
効率的で持続的な森林施業を確保、また木材の安定提供体制を整えるにあたり、引き続き実施していく必要があると考える。	<b>B</b> A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止